

スタート

校長室だより

すきです 白峰

スローガン

「すきです 白峰, 学び合い, 高め合い, 世界に発信」



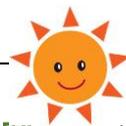
学力の安定・向上に向けて

全教員, 全学年で工夫した取り組みを行っています。
いつでもご来校いただきご覧ください。



チャレンジタイム

25分 プラス の共通実践
毎週水曜日 午後1時20分~45分
プラス「放課後学習」(校長室で〇まる)



白山開山1300年 名山にふさわしい子どもを育てる!

白山市校長会議の年頭の松井毅教育長ご挨拶で、いただいたお言葉です。大変重い意義を感じました。私たちが教職員はこれまで、「日本の三名山の一つである白山の麓で精一杯生き、そして、活躍するに相応しい子ども達の教育を推進してきたのか」、全校児童三十三名の更なる成長を願い、見据えるために、今一度ふりかえること、改善していくことはないので、三学期のスタートにあたり、全教職員で確認していく合言葉にしたいと思います。そして、具体的な成長の姿を共に褒めて認め、励ましていく共通実践を再認識したいと思います。二月のスクールフォーラムでは保護者の皆さんと共に今年度を総括しつつ、次年度への重点課題を共有してまいります。今年もどうぞよろしくお願いいたします。



更なる高みへ 泰然自若の学校運営 新年の決意

木鶏(もつけい)とは、莊子(達生篇)に収められている故事に由来する言葉で、木彫りの鶏のように全く動じない闘鶏における最強の状態をさします。故事では紀悄子という鶏を育てる名人が登場し、王からの下問に答える形式で最強の鶏について説明しています。

紀悄子に鶏を預けた王は、十日ほど経過した時点で仕上がり具合について下問します。すると紀悄子は、『まだ空威張りして闘争心があるからいけません。』と答えました。

更に十日ほど経過して、再度王が下問すると、『まだいけません。他の闘鶏の声や姿を見ただけでいきり立ってしまいます。』と答えました。

更に十日経過した時は、『目を怒らせて己の強さを誇示しているから話になりません』と答えました。そして、さらに十日経過して王が下問すると、『もうよいでしょう。他の闘鶏が鳴いても、全く相手にしません。まるで木鶏のように泰然自若としています。その徳の前に、かなう闘鶏はいないでしょう』と、答えたといわれています。

莊子は道に則した人物の隠喩として木鶏を描いており、真人(道を体得した人物)は他者に惑わされること無く、鎮座しているだけで衆人の範となることとしています。

参照 <https://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%9C%A8%E9%B6%8>

これも、前述の松井教育長が紹介されました。昨今の変化の激しい今、校長には、「泰然自若の学校運営」が求められています。

ぶれることのない学校経営方針、そして、ぶれのない自身の生き方で日々を大切にしたいと思います。

凡事徹底と五無主義の中で、日々十の感謝と感動を言葉にし、日日は好日と生きていることを喜ぶ毎日を大切にしていきたいです。

平成二十九年一月十日 三学期始業

白山市立白峰小学校 校長 田村博久

2つの花台が完成！

「いしかわ木に親しむ環境づくり推進事業」の一環として申請し、交付金をいただいた2つの花台が年末に出来上がりました。今後「花いっぱい運動」の学校として有効活用いたします。1台には、この春満開に開花するビオラを配置しました。乞うご期待！製作にご協力いただいた白峰産業の皆様に感謝申し上げます。



上杉鷹山 うえすぎようざん

(1751~1822)

借金だらけの米沢藩を立て直した偉人。

10歳で米沢藩の婿養子となる。

14歳の頃から細井平洲に学びます

17歳で米沢藩をつぐが、莫大な借金があることを知ります。

財政再建、産業育成、精神復興を同時にした

すばらしい日本人です。

ケネディー大統領が尊敬する日本人として

上杉鷹山を上げたことは、よく知られている話です。



新しい年の挑戦 (上杉鷹山の言葉から)

参照

<http://circle888.com/meigen/uesugi.html>

<http://www.bestsuppli-kan.com/>

成せばなる、成さねばならぬ何事も成らぬは人の、なさぬなりけり
 やろうと思えば何でもできます。できないのはやろうと思わないからです。
 どんなことでも、できないというのは、やろうとしていないのです。昨年末、
 本校の子ども達の二つの弱点を捉えました。本日の始業式では更なる成長を
 指すため、三つ目を付けたしました。
 一 自分をみつめる・・・自問自答
 二 自分でやる・・・自主的实践
 三 上からふかんする・・・相互評価
 様々な働きかけの中で、個々の力強い成長を後押ししたいと思います。

図書券の寄贈 ありがとうございます。

中日ボランティア賞を受賞された白峰水泳クラブ様より、多額の図書券を寄贈いただきました。誠にありがとうございました。図書館の充実に早速活用させていただきます。今後とも子ども達のご指導をよろしく願いいたします。

教科 道徳の現況 ⑫

— 変えていくこと 変えられないこと —



今後の研究の方向
 二他教科との同一性と異質性
 異質性を全員で受容れる例を示します。
 「万引き」というキーワードを黒板に書きます。
 子ども達に「この言葉から思うこと、考えること」を問います。一般的にこのような指導展開は珍しいです。なぜなら「万引きは悪いこと。絶対にしてはならない。」と、大人や教師は徹底して指導してきたからです。
 しかし、そのことが「論ず」ことになる、すなわち「道理を理解する」ことになってきたのかは疑問が残ります。私はそのことに対して、次のような展開が不可欠だと考えています。
 ① 「万引きが悪いことである理由」を聞きます。
 悪いことの理由を十分聞き、黒板に示し、考えを出し切ったところで次の発問を行います。
 ② 「万引きは悪いことなのに、どうして万引きするの か」を想像してもらいます。
 十分想像した意見を、同様に黒板に示し「万引きは悪いこと」と比較できるようにします。
 子ども達はどのように比較するでしょうか、そして、どう考えるのでしょうか。(続く)

抜粋 平成29年の丁酉・・・何かを決定するならば、熟考したり、相談したりと慎重に決めるのが良さそうですね。そして、新たな一步を踏み出すとしても、やがてスムーズに行かない時期が出てくるかもしれません。ですから、いつどうなっても対応できるように、次の策も検討しながら進めていければいいのではないのでしょうか。自分の力に過信することなく慎重に、外部の力をうまく利用する。これで、何も恐れず、進んでいけると思います。

<http://hotdoglab.jp/blog/2017-year-eto/>

※No.35 の下線部を訂正しました。



みつけ玉を磨く!
 がまん玉を磨く!
 しんせつ玉を磨く!



自問清掃の充実

ホームページではカラーでご覧になれます。
 いつでも何なりとお問い合わせください。
 〒920-2501 石川県白山市白峰ニ110番地
 TEL(076)259-2009 FAX(076)259-2188
 E-mail shiramine-e02@sc.city.hakusan.ishikawa.jp